

地域外交の推進

世界の様々な国・地域との多様な交流

新ビジョン体系	8-2 (1)(2)	担当部局	地域外交局 地域外交課
---------	------------	------	-------------

❖ 目 標

- 世界の様々な国・地域と実のある外交を展開し、本県の存在感を高めます。
- 教育、文化、経済、スポーツ、観光等の様々な分野で交流人口を拡大します。
- 県民の国際協力ボランティアへの参加を促し、世界で活躍する人材を育成します。

❖ 施策に関する指標

成果指標	基準値	現状値	目標値	区分
県・市町の国際交流協定等締結・調印数	(2016年度) 104件	(2020年度) 116件	130件	C
地域外交関連事業による海外からの受け入れ人数	(2016年度) 2,766人	(2018~2020年度) 累計5,366人	(2018~2021年度) 累計12,000人	C
青年海外協力隊等の国際協力ボランティア派遣者数	(2016年度まで) 累計1,689人	(2020年度) 累計1,800人	累計1,950人	C

地域外交の推進

活動指標	基準値	現状値	目標値	区分
県と重点国・地域等とのパートナーシップ新規構築数	—	(2018~2020年度) 累計2件	(2018~2021年度) 累計8件	●
国際協力ボランティアに関する説明会等開催回数	(2013~2016年度) 累計5回	(2018~2020年度) 累計61回	(2018~2021年度) 累計70回	○

世界の様々な国・地域との多様な交流

活動指標	基準値	現状値	目標値	区分
海外駐在員事務所対外活動件数	(2017年度) 2,186件	(2020年度) 963件	2,700件	●
海外からの研修員の受入人数・日数	(2013~2016年度) 累計49人・3,311日	(2018~2020年度) 累計36人・2,783日	(2018~2021年度) 累計60人・4,000日	●

❖ 施策推進の視点・主な取組

 **視点1** 人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開

① 重点6か国・地域を中心とした相互にメリットのある交流の推進

友好的互惠・互助の精神に基づく平和を築くための善隣外交を基本とし、富士山静岡空港の活用と友好提携先等との関係強化を通じた、教育、文化、経済、スポーツ、観光など幅広い分野での交流を促進します。

 **視点2** 社会変容を踏まえた地域外交の展開

② コロナ禍及びコロナ後を見据えた交流の推進

従来 of 対面による交流に加えて、オンラインを活用した「ツイン外交」や海外駐在員事務所の積極的な活用により、本県の更なる発展に向けて、コロナ禍によりもたらされた社会変容に対応した取組を展開します。併せて海外からの活力取込に向けた取組を実施します。

1 現状・課題と県の施策

【現状・課題1】

- 地域外交とは、国や地域による文化の違いを理解して、友好的互惠・互助の精神に基づき自立した相互の信頼関係を築く地域レベルの国際交流・国際協力のことです。
- 富士山静岡空港の活用と友好提携先等との関係強化を通じた、教育、文化、経済、スポーツ、観光などの幅広い分野で交流を促進します。

👉 **視点1** 人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開

- 本県の地域外交の展開を示すため、平成24年度に開催した地域外交戦略会議にて、「静岡県地域外交基本方針」を策定（平成27年度、平成30年度改訂）し、これに基づき、地域外交を推進しています。
- 重点6か国・地域等との友好関係を構築し、相互にメリットのある交流を展開しています。
主な取組➡ ①重点6か国・地域を中心とした相互にメリットのある交流

1 静岡県地域外交戦略方針

地域外交の展開に当たり、「重点的取組」、「重点国・地域」、「推進体制」の3つの視点から戦略方針を整理し、明確な時間軸のもとに優先順位の高いものから取組を進め、継続的な展開を図ることで、実効性のある地域外交を実現する。

① 重点的取組

人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開

有徳の人・憧れの地域をつくる交流の促進

- 青少年の相互派遣等による教育交流
- 民間団体等による文化交流の促進
- 健康・長寿、防災、インフラ整備など、本県の特徴を活かした交流

通商の促進

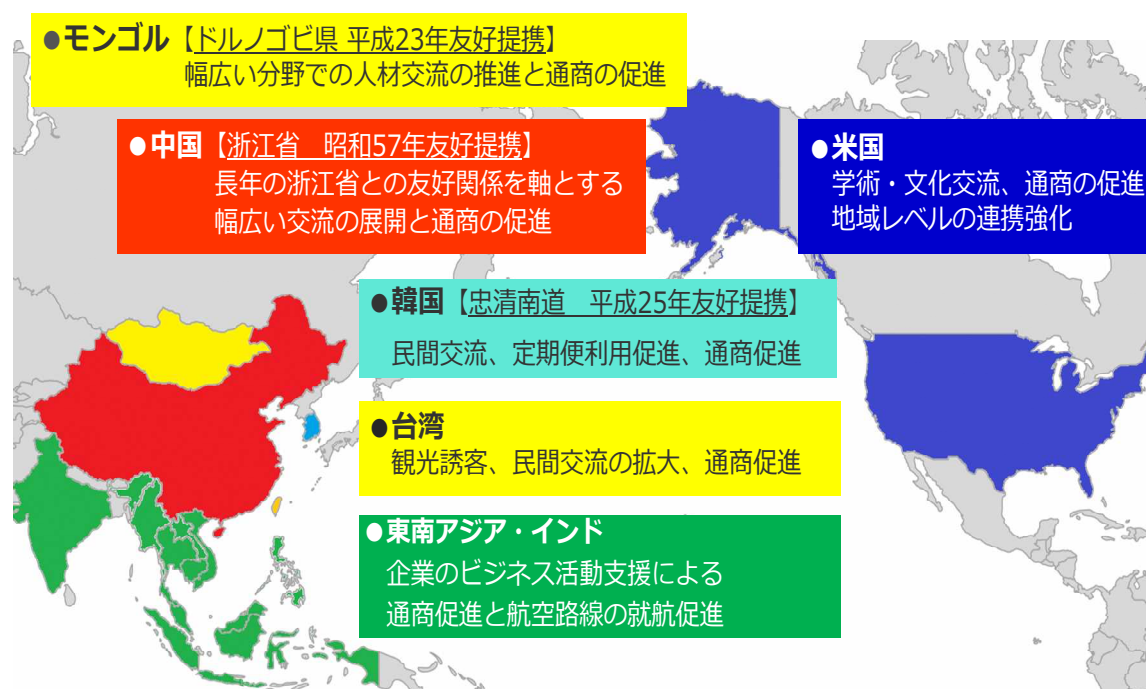
- 県産品の輸出拡大
- 海外展開を図る地域企業への支援
- 海外経済ミッションの受入・派遣等、経済交流の促進

スポーツ・観光交流の促進

- 世界的なスポーツイベント開催を見据えたスポーツ交流
- 富士山静岡空港ほか本県が有する様々な資源や友好提携先等との交流の成果を活用した観光交流の促進

② 重点国・地域

友好提携の状況や富士山静岡空港の就航先など、本県との強い関係があり、今後の地域外交の展開に当たり重要と考えられる次の6つの国や地域を重点国・地域とする。



③ 推進体制

各部局が共通した認識の下に、県内市町や企業、民間団体等とも連携を図りながら、総合的かつ効果的に施策展開を図る。さらに通商推進プロジェクトチームにより、通商の推進に向けた部局横断的な課題に取り組む。

地域外交には交渉相手の国や地域の専門家が求められることから、地域外交を担う人材を育成するとともに、外部有識者の活用や重点国・地域での各種機関との連携や、海外駐在員事務所を核としたネットワーク機能の強化を進める。

- 全庁的な共通認識に基づく戦略的な施策の展開
- 地域外交を担う職員の育成
- 外部有識者からの助言・指導やネイティブ職員の活用
ネイティブ職員：中国1名、韓国1名、モンゴル1名
- 海外駐在員事務所を核とするネットワーク機能の強化
- 県内市町、企業、民間団体、各種国際関係機関等との連携

3 友好協定締結先

(1)中国・浙江省

締結年月	昭和 57 (1982 年) 4 月
省都	杭州市
人口	5,850 万人 (2019 年)
面積	105,500 km ²
GDP	約 111 兆 5000 億円
主要産業	紡績、機械工業、IT 産業

(2)韓国・忠清南道

締結年月	平成 25 年 (2013 年) 4 月
道庁所在地	洪城郡洪北邑 (ホンソングンホンブクウプ)
人口	221 万人 (2020 年)
面積	8,226.17 km ²
GDP	約 11 兆 8,000 億円
主要産業	製造業、サービス業

(3)モンゴル・ドルノゴビ県

締結年月	平成 23 (2011 年) 4 月
県庁所在地	サインシャンド
人口	7.1 万人 (2017 年)
面積	109,472 km ²
GDP	約 16 億円
主要産業	畜産、農牧、重工業

(参考)静岡県

人口	360 万人 (2021 年 4 月)
面積	7,777 km ²
GDP	約 17 兆 4,600 億円
主要産業	製造業、農業・水産業

4 海外駐在員事務所の設置状況

	東南アジア	中 国	韓 国	台 湾
設置目的	昭和 60 年プラザ合意以降の急激な円高に伴う県内中小企業による海外展開を支援する。併せて、観光、文化、教育分野の交流促進を通じ、東南アジアの活力の取込みを図る。	経済成長が著しく、企業の進出が顕著な中国における本県企業の活動を支援する。	富士山静岡空港の活用促進とインバウンド増加のため、仁川空港定期便維持と利用拡大、新規就航促進、本県観光商品造成支援等により、本県の知名度向上及び韓国との交流促進を図る。	台湾全土を対象に、通年に行われる観光誘客、民間団体間の交流などの促進により、将来的な定期便デイリー化を通じ交流人口の拡大を目指す。
設 置 時 期	昭和 63 年 6 月 1 日 (平成 25 年 6 月 1 日)	平成 6 年 10 月 1 日	平成 19 年 6 月 29 日	平成 25 年 4 月 22 日
活 動 範 囲	東南アジア、南アジア、オセアニア	中国 (台湾を除く)	韓国、モンゴル	台湾
運営体制	駐在員 1 人 現地採用職員 2 人	駐在員 1 人 現地採用職員 2 人	駐在員 1 人 現地採用職員 2 人	駐在員 1 人 現地採用職員 2 人

5 地域外交施策を通じた交流の拡大

指標	2011年度	2019年度
<有徳の人・憧れの地域をつくる交流の促進>		
外国人留学生数	2,251人(※2012年度)	3,598人
県内高等教育機関から海外への留学生数	620人(※2012年度)	887人
県内大学と海外大学との協定締結数	185校	299校
県内高等学校の海外修学旅行実施校数	46校	52校
<通商の促進>		
県の海外市場開拓支援による県産農林水産物新規輸出成約件数	54件	161件
県内企業の海外事業所数	1,006事業所	1,115事業所
富士山静岡空港を利用した輸出入金額	208百万円	2,870百万円
外国人就業者数 (専門的・技術的分野の在留資格)	2,464人	6,209人
<スポーツ・観光交流の促進>		
外国人宿泊者数	333,560人(※年計)	2,493,790人(※年計)
富士山静岡空港の外国人出入国者数	38千人	206千人
県内港湾のクルーズ船による寄港数	7件	45件

6 ふじのくにの魅力の向上と発信

項目	年
富士山の世界文化遺産登録	2013年
韮山反射炉の世界文化遺産登録	2015年
伊豆半島のユネスコ世界ジオパーク認定	2018年
F A O世界農業遺産認定(静岡の茶草場農法、静岡水わさびの伝統栽培)	2013年 2018年
駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟	2016年

【現状・課題2】

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、対面による交流は中止や延期を余儀なくされています。
- 重点6か国・地域を中心とした関係の維持・強化のため、社会変容に対応した地域外交を推進します。

👉 **視点2** 社会変容を踏まえた地域外交の展開

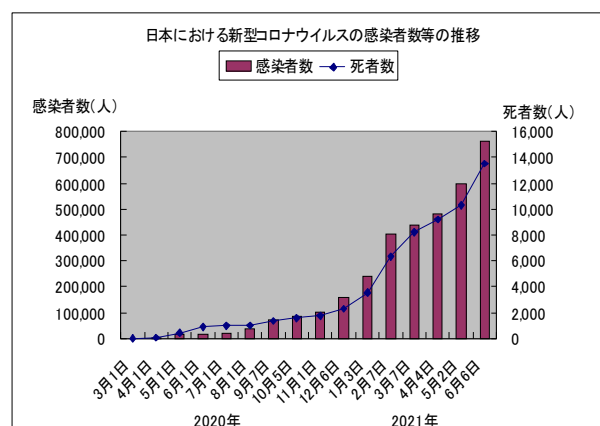
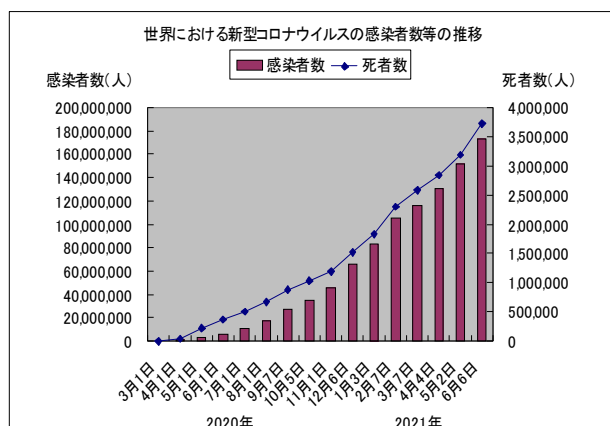
○コロナ禍において、対面とオンラインの併用による「ツイン外交」や海外駐在員事務所の積極的な活用、また、海外からの活力取込に向けた取組を行います。

主な取組➡ ② コロナ下及びコロナ後を見据えた交流の推進

1 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の状況（2021年6月13日時点）

区分	累計感染者数 (人)	人口10万人 あたりの割合	累計死者数 (人)	人口10万人 あたりの割合
北米・中南米	69,519,254	6,797.1	1,826,772	178.6
ヨーロッパ	54,988,102	5,893.3	1,166,500	125.0
アフリカ	3,658,976	326.1	89,674	8.0
東南アジア	33,432,290	1,653.9	451,838	22.4
日本	773,822	611.8	14,033	11.1
世界	175,333,154	—	3,793,230	—

(WHO 発表)



(WHO 発表を基に地域外交課作成)

2 新型コロナウイルスの感染拡大による各国・地域との往来制限

日本の対外入国制限等	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年10月1日から在留資格を持つ外国人の入国制限を緩和 →2020年12月28日から全ての外国人の新規入国を原則停止 ・一部の国・地域とビジネストラックやレジデンストラックを運用 →2021年1月14日からビジネストラック等の運用停止 ・日本人の短期出張に係る帰国後14日間の待機免除特例 →2020年12月28日から一時停止 ・2020年12月30日から検疫を強化
海外の対日入国制限等 (6月21日時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・74か国・地域で入国制限 ・167か国・地域で入国後の行動制限

(外務省発表)

3 出入国者数

(1)入国者数

	2019年	2020年	対前年比
延べ入国者数	51,217,234人	7,990,527人	15.6%
うち外国人	31,187,179人	4,307,257人	13.8%

(出入国在留管理庁「出入国管理統計」)

(2)出国者数

	2019年	2020年	対前年比
延べ出国者数	51,041,173人	7,857,294人	15.4%
うち外国人	30,960,504人	4,683,075人	15.1%

(出入国在留管理庁「出入国管理統計」)

4 静岡県における宿泊者数

	2019年	2020年	対前年比
延べ宿泊者数	2,342万人泊	1,345万人泊	57.4%
うち外国人	249万人泊	26万人泊	10.4%

(観光庁「宿泊旅行統計調査」)

5 富士山静岡空港の国際線直行便の路線数

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
中国路線	11	6	6	10	4
韓国路線	2	2	2	2	1
台湾路線	1	1	1	1	1
合計	14	9	9	13	6

※2020年度は全便欠航
(県空港振興課調べ)

6 県内企業の海外への新規展開事業社数 (単位：社)

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
21	22	26	7	集計中

(県企業立地推進課調べ)

7 海外修学旅行を実施した公立高校の割合 (単位：%)

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
23	34	34	31	集計中

(県教育委員会高校教育課調べ)

8 県内高等教育機関から海外への留学生数 (単位：人)

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
526	904	809	887	集計中

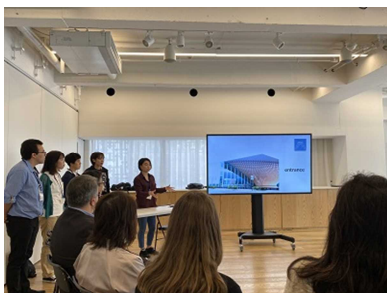

(県大学課調べ)



2 施策に関する県と市町、民間等との役割分担

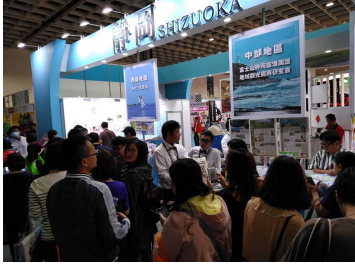

区分	役割・取組等
県	<p>(人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点6か国・地域等との関係構築による相互にメリットのある事業の実施 ・外務省及び日本の在外公館との連携 ・国際交流関係団体（JICA、国際交流基金等）、県内関係機関（静岡県国際経済振興会、静岡県日中友好協議会等）との協働 <p>(社会変容を踏まえた地域外交の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面とオンラインの併用による「ツイン外交」 ・海外駐在員による現地の国・地域での支援 ・これまで築いたネットワークを活用した情報発信
市町	<p>(人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開)</p> <p>(社会変容を踏まえた地域外交の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、各市町の状況に応じた地域外交の推進 ・市民への国際交流に関する広報活動の実施
民間等	<p>(人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開)</p> <p>(社会変容を踏まえた地域外交の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の交流等、地域における国際化の推進 ・県の情報やネットワークを活用した企業間交流や販路拡大 ・富士山静岡空港から来静する外国人観光客の取込み

3 主な取組

視点1 人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開

取組①	重点6か国・地域を中心とした相互にメリットのある交流の推進	担当課名	地域外交課
目的 (何のために)	国際的に存在感のある地域となるため、地域外交基本方針で定めている6つの重点国・地域を中心に、相互にメリットのある交流を推進します。		
取組内容 (手段、手法など)	地域外交の展開に当たり、戦略方針の中に重点的取組を定め、優先順位の高いものから取組を進めて、継続的な展開を図ることで、実効性のある地域外交を実現します。		
	取組1： 重点的取組による幅広い分野での交流		
	<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域外交基本方針において中期的視点による重点的取組として定めている「有徳の人・憧れの地域をつくる交流の促進」、「通商の促進」、「スポーツ・観光交流の促進」により、幅広い分野での交流を推進する。 		
	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 相互の交流を支える人材の育成や世界から憧れられる地域づくり 県産品の輸出拡大や海外展開を図る企業支援及び経済ミッション団の相互派遣 世界的イベント等を通じたスポーツ交流や航空路線活用による観光交流促進 		
	<p><これまでの実績></p> <p>有徳の人・憧れの地域をつくる交流の促進</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> 交流を支えるグローバル人材の育成 青少年の相互理解の促進 本県のプレゼンス（存在感）向上 		
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県・浙江省友好交流卓球大会（令和元（2019）年） 海外技術研修員受入（毎年） ブラジル青少年派遣（H30（2018）年～）（※写真左） JICA 帰国報告会（毎年）（※写真右） 		
			

通商の促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産農林水産物の新規輸出成約件数の増加 ・ 輸出商談会等への参加企業増加による県産品の販路拡大
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出商談会への出展支援（※写真左） ・ 県産品を活用したレストランフェアや県産日本酒の利き酒キャンペーン ・ ビジネス商談会の開催（※写真右）
	 

スポーツ・観光交流の促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士山静岡空港を発着する海外路線の増加による相互交流人口の拡大 ・ 外国人宿泊者数の増加 ・ スポーツを通じた相互交流の促進及び本県の認知度向上
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外航空会社や船社へのセールス活動 ・ 旅行博等への出展（※写真左） ・ オリンピック・パラリンピックホストタウン及びモンゴルをはじめとした事前キャンプの誘致活動や交流支援（※写真右）
	 

取組内容（手段、手法など）

取組2： 重点6か国・地域との交流 (P.22 参考資料)

<概要>


- ・ 友好提携の状況や富士山静岡空港の就航先など、本県と強い関係があり、今後の地域外交の展開に当たり重要と考えられる6つの重点国・地域と、相互にメリットのある交流を推進する。

<内容>



- ・ 知事、副知事、外部有識者等が出席し、推進体制や施策に関して意見交換を行う地域外交推進本部会議において決定された取組の方向性に則した交流事業の実施
- ・ 官民連携による事業実施



<これまでの実績>

中国：長年にわたる浙江省との友好関係を軸とする幅広い交流の展開と通商の促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浙江省政府との関係強化による富士山静岡空港を発着する浙江省の航空路線増加（令和元年度に最大週11便） ・ 行政と経済団体の協働による企業間の連携強化
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県・浙江省友好交流卓球大会（令和元（2019）年）※再掲（※写真左） ・ 静岡県・浙江省経済交流促進機構全体会議（毎年） ・ 北京国際園芸博覧会への出展（令和元（2019）年）（※写真右） ・ 日中青年代表交流（毎年）
	


韓国：民間主体の交流拡大と定期便利用の促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流支援を通じた民間相互の継続交流 ・ 青少年交流による相互理解の促進
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝鮮通信使記念茶会（毎年）（※写真左） ・ 済州青少年フォーラム（毎年）（※写真右） ・ 民間外交支援事業（通年） ・ 大学生による「食」をテーマにした交流（平成30（2018）年）
	

取組内容（手段、手法など）

モンゴル：幅広い分野での人材交流の推進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修事業を通じたモンゴル国の発展への貢献と交流人材の育成 ・将来的に本県で就職を目指す介護人材育成による本県の人材不足解消の端緒
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル長期人材研修員受入、電力流通研修員受入（毎年） ・将来、本県で介護士等を目指す学生の育成研修（令和元（2019）年～）（※写真左） ・高校生交流団の相互派遣（毎年）（※写真右） ・高度人材を対象とした合同面接会開催（令和元（2019）年～）
	 

台湾：観光誘客及び民間交流の拡大と通商の促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソンやサイクリングなどを通じた相互交流人口の拡大 ・行政間の防災交流深化に合わせた防災用品の販路拡大
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ交流（マラソン、サイクリング）（毎年）（※写真左） ・ふじのくに通商エキスパートによる支援（毎年） ・防災交流（派遣及び防災用品の販路拡大支援）（毎年）（※写真右） ・教育旅行交流（毎年）
	 

東南アジア・インド：企業のビジネス活動支援による通商の促進と航空路線の就航促進	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導による経済交流事業実施による企業活動を支援 ・高度人材マッチング会を通じた本県企業の人材不足解消
代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアからの研修員受入（毎年）（※写真右） ・東南アジア経済交流事業（毎年）（※写真左） ・海外高度人材と県内中小企業のマッチング会（毎年） ・インド ZOHO 社サマーキャンプ
	 

	米国：学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政間の交流を通じた企業展開を支援 ・ 茶の機能性に関する茶の機能性 PR による静岡茶の輸出拡大
取組内容（手段、手法など）	代表的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日米カウンシル知事会議（毎年）（※写真左） ・ シリコンバレー現地展示会（令和元（2019）年） ・ カリフォルニア大学デービス校との連携による静岡茶輸出拡大（毎年） ・ 日米中西部会（毎年）（※写真右）
		 

視点2 社会変容を踏まえた地域外交の展開

取組②	コロナ禍及びコロナ後を見据えた交流の推進	担当課名	地域外交課
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、これまでに築いた重点6か国・地域を中心とした関係の維持・発展が重要となります。 ・このため、コロナ禍によりもたらされた社会変容に対応した柔軟な交流の展開を図る必要があります。 		
取組内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会変容に対応するため、従来の対面による交流に加え、オンラインを併用した「ツイン外交」の実施や、海外駐在員事務所の積極的な活用を行います。 ・併せて、新たに海外からの活力取込に向けた取組を実施します。 		
	取組1： ツイン外交の推進	(P.25 参考資料)	
<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域外交の基本は顔と顔を合わせ、相互理解を深め、信頼関係を構築する「対面」による交流が基本であるが、これまでに関係を築いた交流先の国・地域との関係の維持・発展のため、オンラインも積極的に活用している。 ・これまでの交流を通じて構築した独自のネットワークを活用し、海外の最新かつ正確な情報を提供しているほか、本県情報の海外への発信を行っている。 ・海外4か国・地域に配置している駐在員事務所を積極的に活用し、国境を越えた往来が制限されている状況下においても、県産品の販路開拓支援、コロナ後を見据えたPR活動を効果的に実施する。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面とオンラインの併用による「ツイン外交」の実施（会談、研修、民間・学生交流） ・県内の海外展開企業やインバウンド受入の観光事業者等を対象とする、今後の業務の参考となる海外の最新情報を紹介する「地域外交チャンネル」の配信 ・世界中で感染拡大する新型コロナウイルス感染症について、海外駐在員事務所のある国・地域を中心に特長ある対策等を紹介する「海外駐在員トピックス臨時版」の発行 ・海外において知名度の高いインフルエンサーを活用した本県情報の発信 ・商談会、旅行博などへの出展やオンライン商談会に参加する県内企業への支援、現地政府との連携事業の実施など、海外駐在員事務所の積極的な活用 			

<令和2年度の実績>

ツイン外交の実施

◎知事と海外関係者との対談

時期	国・地域	相手方	オンライン
5月	台湾	台北駐日経済文化代表処横浜分処長	○
6月	中国	中国駐日大使	○
9月	韓国	駐横浜韓国総領事館総領事	
10月	ブラジル	駐日ブラジル大使	
11月	インドネシア	駐日インドネシア臨時代理大使	
11月	インドネシア	西ジャワ州知事	○
1月	中国	中国駐日大使	○
2月	台湾	台湾観光局長及び台湾観光協会会長	○



中国駐日大使とのオンライン会談



駐横浜韓国総領事との面談

◎オンライン交流事業事例

研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル電力研修（モンゴル国の電力技術職員育成） ・モンゴル日本理解人材育成 （将来本県で介護職員として従事することを目指す人材の育成）
交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本県と台湾との高校生交流 ・K-POPをテーマとした青少年交流（韓国） ・モンゴル交流自治体情報交換会



日本理解人材育成研修



県内と台湾の高校生間の交流

◎県民や県内企業にとり有益な情報発信

- ・報道機関に積極的に情報提供。(令和2年度は新聞52回、テレビ4回の掲載)
- ・「地域外交チャンネル」を開設し、毎週火曜日に実施。
- ・海外駐在員事務所は、現地の最新情報を「海外駐在員トピックス」として毎月発信。加えて、「臨時版」を令和2年4月末から令和3年3月末までに19回発行。この他、現地進出企業や県内観光事業者等を対象としたWEBセミナーを開催。
- ・インドネシア等でプロサッカー選手として活躍した松永祥兵氏(三島市出身。ふじのくに観光公使)によるインドネシア向けの本県PR動画を制作し公開。



地域外交チャンネル



インドネシア向けPR動画

◎海外駐在員事務所の主な活動

<中国駐在員事務所>

地域の魅力発信事業

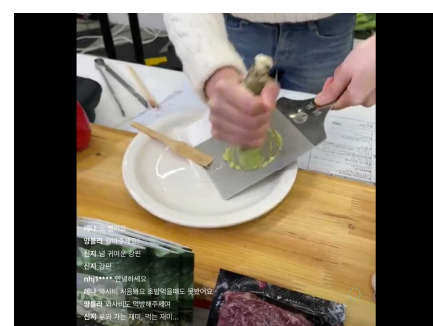
- ・在中国日本大使館との連携
- ・中国SNSで生放送
- ・ちびまる子ちゃんランドから生中継し、観光施設や県産品をPR



<韓国駐在員事務所>

県産わさびの販路拡大

- ・県産わさびと忠清南道韓牛をライブショッピングによりセット販売
- ・チェジュ航空の無着陸飛行の機内にてPR



<台湾駐在員事務所>

富士山周遊チャーターで本県 PR

- ・チャイナエアラインとの連携
- ・機内食に県産品を活用したほか、機内で PR 動画を上映



<東南アジア駐在員事務所>

利き酒コラボプロジェクト

- ・シンガポールの飲食店と連携
- ・北海道、石川県とともに利き酒セットを販売
- ・日本酒の特徴や蔵元を説明するシートを貼付



取組2： 海外からの活力取り込み**<概要>**

- ・人口減少、少子高齢化などにより経済成長が鈍化すると見込まれる本県の課題解決に向けて、地域外交の新たな展開として、外国人材や外資系企業等の海外の活力取り込み（首都圏や関西圏を含む）が重要と考えられる。こうした取組を通じて、「世界から選ばれる“ふじのくに”」の実現を目指していく。

<内容>

- ・外国人材や外資系企業の取り込みを図るための環境整備に向けた、首都圏在住外国人を対象としたオンラインタウンミーティングの開催
- ・首都圏在住で、テレワークが可能でありかつ高度な技能を持つ外国人材を対象に、本県の生活満足度や移住可能性を探るテレワーク体験事業の実施
- ・国内のコワーキングスペースを活用した交流の芽の発掘

<令和2年度の実績>

- ・大都市圏在住の高度外国人材や留学生に対して、本県の印象や移住の可能性、居住地に求める条件等を調査するアンケートの実施（令和3年2月実施。有効回答数216名）
- ・事前に選考した首都圏在住外国人材を対象に、モデレーターによるインタビューを通じて、参加者の本県に対する本音を引き出す「フォーカス・グループ・インタビュー」の実施
- ・本県への移住に当たっての魅力や課題をオープンな形で聴取する「ふじのくに高度外国人材等広聴会」の実施



オンラインタウンミーティングの様子

4 主要事業

事業名	重点項目	2021 予算額(千円)
地域外交展開事業費	・重点6か国・地域を中心に、各友好協定・覚書に基づいた交流事業等を実施	48,648
地域外交人材育成・ 経済交流強化事業費	・本県との架け橋となる人材育成に関する研修事業 ・経済交流事業 ・モンゴル国ドルノゴビ県との友好協定10周年記念事業	37,312
国際化総合推進費	・在外県人会の活動支援 ・北方領土返還要求理解促進 ・外務省や在日外国公館との連携	7,665
	合計	93,625

視点1 人をつくり、富をつくり、平和を築く地域外交の展開

<重点6か国・地域ごとの令和3年度の事業概要>

1 中国

<中期的視点による重点的取組>

長年にわたる浙江省との友好関係を軸とする幅広い交流の展開と通商の促進

<主な事業>

- ・ R 4 年度浙江省友好提携 40 周年の準備
- ・ 中国技術研修員の受入
- ・ 航空会社への運航再開の働きかけ
- ・ 中国国際輸入博覧会出展
- ・ ふじのくに通商エキスパートの設置
- ・ 県浙江省環境プラットフォーム事業
- ・ 浙江省経済交流強化事業
- ・ 静岡県・浙江省経済ビジネス交流事業費助成
- ・ 医療・介護分野における浙江省との交流
- ・ 日中青年代表交流

2 韓国

<中期的視点による重点的取組>

民間主体の交流拡大と定期便利用の促進

<主な事業>

- ・ ふじのくに及び韓国忠清圏連携強化事業
- ・ 朝鮮通信使記念茶会
- ・ 民間外交支援事業
- ・ 航空会社への運航再開の働きかけ
- ・ フーズ・ヘルスケア・オープンイノベーションセンターとの連携
- ・ ふじのくに通商エキスパートの設置
- ・ 済州青少年フォーラム

3 モンゴル

<中期的視点による重点的取組>

幅広い分野での人材交流の推進と通商の促進

<主な事業>

- ・ドルノゴビ県との友好協定締結 10 周年記念事業
- ・人材研修（高度技術、日本理解人材育成等）
- ・青少年ラグビー交流
- ・海外合同面接会等の開催
- ・モンゴル経済交流強化事業
- ・農業交流（職員派遣・受入）
- ・生活排水処理技術支援（Web 研修、Web セミナー）
- ・静岡がん会議への招聘
- ・高校生相互交流

4 台湾

<中期的視点による重点的取組>

観光誘客及び民間交流の拡大と通商の促進

<主な事業>

- ・日台友情・防災防疫連携強化事業
- ・防災交流の推進
- ・航空会社への運航再開の働きかけ
- ・台湾工業技術研究院（ITRI）との連携強化
- ・ふじのくに通商エキスパートの設置
- ・鉄道沿線地域交流拡大

5 東南アジア・インド

<中期的視点による重点的取組>

企業のビジネス支援による経済交流促進と航空路線の就航促進

<主な事業>

- ・東アジア地方政府会合（インドネシア西ジャワ州）参加
- ・インドネシア西ジャワ州からの研修員受入
- ・ふじのくに通商エキスパートの設置
- ・海外合同面接会等の開催
- ・東南アジアパートナーシップ構築事業
- ・ビジネスサポートデスクの設置運営
- ・県内企業でのビジネスインターンプログラム
- ・アグリ・フードフォーラム開催

6 米国

<中期的視点による重点的取組>

学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化

<主な事業>

- ・日米カウンスिल知事会議との連携
- ・メディア招請事業
- ・ビジネスサポートデスクの設置運営
- ・日米中西部会との連携
- ・県内企業でのビジネスインターンプログラム
- ・カリフォルニア大学デービス校（UCD）との連携による静岡茶輸出拡大
- ・海外茶業者の研修

視点2 社会変容を踏まえた地域外交の展開

＜報道事例＞

モンゴル交流自治体情報交換会（2020年6月30日 読売新聞朝刊から抜粋）

県は、モンゴル出身の職員が勤務する全国の自治体とインターネット会議を開いた。新型コロナウイルスの感染拡大で海外との往来が難しいなか、各自治体の取り組みを共有して交流拡大につなげる狙い。

（中略）県や島田、焼津、伊豆の国の県内各市に加え、北海道滝川市や鳥取県、宮崎県都城市など計12自治体が参加した。県を含む3自治体がこれまでに行ったスポーツや医療といった分野での交流内容を発表した。

意見交換では、モンゴルとの往来をせずに交流を深める方法を話し合った。（以下、省略）

本県と台湾との高校生交流（2021年1月29日 静岡新聞朝刊から抜粋）

静岡市葵区の静岡東高の2年生が28日、台湾の高校生とオンライン交流を実施した。県のコロナ下の国際交流の形を探るモデル事業の一環で、ビデオ会議システムを用いて国連の持続可能な開発目標（SDGs）について意見交換した。

英語を使ってSDGsについて主体的に学ぶ静岡東高の生徒約30人が、台北市立内湖高級中学の生徒と交流した。両生徒はそれぞれ6グループに分かれ、プレゼンテーションソフトを使いながらSDGsについての学びの成果を報告。静岡東高の生徒は「コロナ禍の生活の楽しみ方」「環境保全」「男女平等社会の実現」などをテーマに発表した。

（中略）今回の交流ではそれぞれの文化なども紹介し、国際理解を深め合った。

K-POPをテーマとした青少年交流（2021年2月24日 静岡新聞朝刊から抜粋）

県は友好協定を締結している韓国忠清南道の私立高と協力し「ふじのくに K-POP トークカフェ」を静岡市葵区の静鉄コワーキングオフィス＝ODENで開いた。

K-POPに関心のある県内の中学生から大学生までの13人が参加し、ボーカルやダンスなどK-POPを専門的に学ぶ韓国の「韓国 K-POP 高校」の生徒3人とオンラインで交流した。参加者は互いに「なぜ韓国のアイドルは歌が上手なのか」、「日本で K-POP はどのくらい人気があるか」などと質問あった。新型コロナウイルスの影響で国際交流の機会が減少したことを踏まえ、相互理解を促進するため企画された。参加した同区の岩田茉優さん（20）は「貴重な時間を過ごすことができた」と話した。

富士山周遊チャーターで本県 PR（2021年3月21日 静岡新聞朝刊から抜粋）

台湾の中華航空は20日、上空から富士山を見物する「日帰り空の旅」のイベントを実施した。（中略）雪化粧の富士山が雲の隙間から姿をのぞかせると「きれい！」と歓声をあげ、盛んに写真を撮っていた。ウナギのかば焼きなど静岡県にまつわる機内食を楽しんだほか、同県ゆかりの土産なども提供された。同乗した静岡県駐台湾事務所の宮崎悌三所長は「空から静岡県に触れたことを記憶に刻んで、ぜひ訪れてほしい」と話し、コロナ禍後の台湾客回復に期待を込めた。

<コロナ下において、重点6か国地域で優先すべき取組>

新型コロナウイルスの感染拡大により、海外との自由な往来の再開は未だ見通せない状況にあることから、現行の地域外交基本方針に定めている重点6か国・地域との交流において、特に優先すべき取組を整理している。

国・地域	優先すべき取組	代表的な事例
中国	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に友好提携40周年を迎える浙江省との友好関係を軸とする重層的な関係づくり 路線の早期回復と再開後の観光誘客 	<ul style="list-style-type: none"> 浙江省友好提携40周年に向けた準備 航空会社への働きかけや本県誘客への機運醸成
韓国	<ul style="list-style-type: none"> 路線の早期回復と再開後の観光誘客 政府間の関係に左右されない草の根交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 航空会社への働きかけや本県誘客への機運醸成 将来世代に向けた交流機会の創出
モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野での人材交流とドルノゴビ県友好協定締結10周年を機とした関係強化 	<ul style="list-style-type: none"> 介護人材・技能実習生等の事業を推進 静岡モンゴル年2021交流イベント
台湾	<ul style="list-style-type: none"> 路線の早期回復と再開後の観光誘客 防災・防疫分野での交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> 航空会社への働きかけや本県誘客への機運醸成 日台友情・防災の連携強化
東南アジア・インド	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した海外展開支援の実施と新規航空路線の就航促進 	<ul style="list-style-type: none"> 県産品の販路拡大や企業の海外への事業展開、人材受け入れ等の支援 ベトナムなど路線の誘致に向けた取組の推進
米国	<ul style="list-style-type: none"> 学術・文化・経済を通じた地域レベルの交流 	<ul style="list-style-type: none"> 将来世代に向けた交流機会の創出 米日カウンシルを活用した県内企業支援

<地域外交チャンネルの配信状況>

○令和2年度実績

実施日	テーマ	担当
7月14日	中国・韓国・台湾・東南アジアの入国制限の現状と解除後の留意事項	海外4事務所長
7月21日	ウイズ・コロナ下の世界情勢 ～米中対立を軸として～	県対外関係補佐官
7月28日	観光復活へ！中国・韓国・台湾・東南アジア各国の国内観光の動向	海外4事務所長
8月4日	東南アジア訪日インバウンドトーク	東南アジア事務所
8月11日	With コロナーコロナ時代の観光の姿 ～韓国の場合～	韓国事務所
8月18日	台湾から見た日本のインバウンド ～with/after コロナにおける観光業～	台湾事務所
8月25日	日韓関係：不信の構造を乗り越える	県対外関係補佐官
9月1日	ポストコロナを見据えた中国人インバウンド戦略	中国事務所

参考資料

9月8日	ブラジルのコロナ禍の現状と取組	県対外関係推進員
9月15日	県産品輸出振興の成功事例 ～高知県 ゆず～	東南アジア事務所
9月29日	“通商エキスパート”が語る食品及び防災用品に係る 台湾市場の動向と販路開拓の課題	台湾事務所
10月13日	コロナ禍における韓国での日本産品の状況	韓国事務所
10月20日	外国人に選ばれる地域づくり ～国際交流員の視点～	県国際交流員
10月27日	中国の現状～入国者隔離施策、金融・経済状況など	中国事務所
11月10日	モンゴル国の経済事情と企業進出	モンゴル貿易開発銀行（TDB） 東京駐在員事務所長
11月17日	米国大統領選挙について	県対外関係補佐官
12月1日	JICA 隊員が語る現地での活動と今後について	JICA 派遣ルワンダ隊
12月8日	米国日本食市場－アフターコロナの市場動向は？	日本食文化振興協会顧問
12月22日	松永祥兵海外体験談！！	ふじのくに観光公使
1月12日	静岡県海外駐在員オンライン報告会 (観光インバウンド)	韓国事務所、台湾事務所
1月19日	ニューノーマル下での ふじさん駿河湾フェリーの楽しみ方	駿河湾フェリー常務理事 ふじのくに親善大使
1月26日	2021年の日本外交の展望	県対外関係補佐官
2月2日	SDGs（持続可能な開発目標）でビジネスを見直す！	静岡県立大学教授
2月9日	欧州ビジネス環境の変化と留意点 ～コロナ感染拡大やブレグジットの影響を踏まえて～	JETRO 欧州ロシア CIS 課長
2月16日	静岡県海外駐在員オンライン報告会 (経済・通商)	中国事務所、 東南アジア事務所
3月2日	訪日教育旅行から考える国際交流の今とこれから～ 静岡県の国際化へ～	地域振興交流協会代表理事
3月16日	ロシアを巡る国際情勢と日ロ関係	県対外関係補佐官
3月23日	領事館ってどんなところ？ ～領事館から繋がる米国～	在名古屋米国領事館首席領事

<駐在員トピックス臨時版>

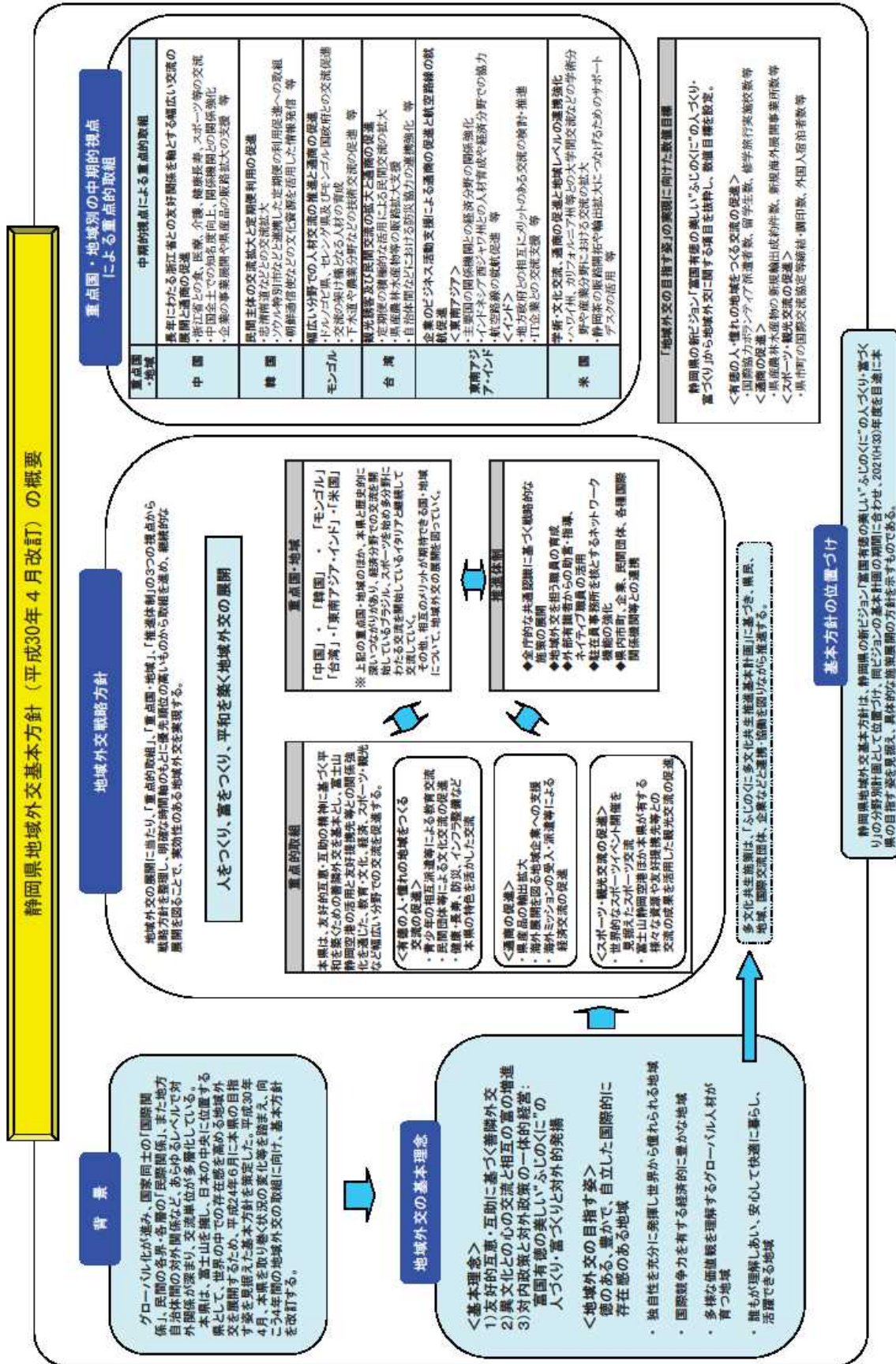
○令和2年度実績

号数	発行日	国・地域	項目
1	4月30日	中国	徐々に平穩を取り戻しつつある首都・北京
		韓国	ドライブスルーやウォークスルー等による徹底的な検査体制
		台湾	先手先手の対応と専門家による組織運営
		東南アジア	シンガポールで感染者数が急増 外国人労働者が集団感染
2	5月1日	韓国	帰国者からの二次感染を防ぐための「家族安心ホテル」
		台湾	「エアロゾル・ボックス」の製作、防疫に関する啓発
3	5月7日	シンガポール	社会制限（サーキットブレーカー）措置の段階的緩和
		韓国	自宅等隔離者への支援物資の支給
		台湾	施設における検温、多言語での防疫に関する啓発
4	5月19日	中国	「日本 頑張れ！」浙江省の大学生からの応援メッセージ
		韓国	中韓、ビジネス目的渡航解禁「ファストトラック」制度
5	5月25日	シンガポール	シンガポールにおける段階的緩和時の対応
6	5月27日	韓国	ソウル市梨泰院（イェウ）のクラブ集団感染に対する政府対応
		台湾	感染症対策と経済活性化の両立に向けた消費活動の促進及び観光に係る段階的規制緩和草案の発表
7	6月3日	中国	動画「新型コロナウイルスの影響から立ち直った上海の様子」
		韓国	新たに発生した物流センター発の集団感染－経済活動再開への注意点
8	6月18日	ブラジル	ブラジルにおける新型コロナウイルス感染状況
9	7月3日	台湾	防疫及び医薬分野等の取組状況
		韓国	QRコードを活用した「電子出入名簿」の運用
10	7月6日	東南アジア	シンガポール・中国間における渡航制限の緩和
		韓国	韓国の「ファストトラック」ビジネス特例渡航の現状
11	7月14日	-	ケンブリッジ大学による「新しい生活様式」の実践、提案
12	7月21日	中国・韓国・ 台湾・東南アジア	入国制限と解除後の留意事項
13	8月20日	韓国	ソウル首都圏における社会的距離の確保の段階引き上げ
		東南アジア	シンガポール・マレーシア間の出入国制限の緩和について
14	8月28日	韓国	社会的距離の確保段階の全国的な引き上げ
15	10月9日	韓国	韓国の「ビジネストラック」、ビジネス特例渡航の現状
16	11月20日	韓国	韓国、首都圏で防疫措置を強化
17	11月26日	台湾	秋冬期間中の新型コロナウイルス感染症対策の強化

参考資料

18	12月28日	東南 アジア	ベトナム及びインドネシア政府による経済対策・事業者支援策の更新
19	1月12日	中国	一部地方政府による入国者の隔離措置期間延長

＜静岡県地域外交基本方針の概要＞



重点国・地域別の中期的取組による重点的取組

重点国・地域	中期的視点による重点的取組
中国	長年にわたる静岡県との友好関係を軸とする幅広い交流の展開と通商の促進 ・ 静岡県との食、医療、介護、健康長寿、スポーツ等の交流 ・ 中国全土での知名度向上、関係機関との関係強化 ・ 企業の事業展開や農産品の販路拡大の支援 等
韓国	民間主体の交流拡大と定期便利用の促進 ・ 静岡県道などとの交流拡大 ・ ソウル特別市などと連携した定期便の利用促進への取組 ・ 朝鮮通信使などの文化資源を活用した情報発信 等
モンゴル	幅広い分野での人材交流の推進と通商の促進 ・ トルコビエ風、セブリング風及びモンゴル国政府との交流促進 ・ 交流の受け手となる人材の育成 ・ 下水道や農業分野などの技術交流の促進 等
台湾	観光振興及び民間交流の促進と通商の促進 ・ 定期便の制度的な活用による民間交流の拡大 ・ 県産農水産物等の販路拡大支援 ・ 自治体間などにおける防災協力の連携強化 等
東南アジア・インド	企業のビジネス活動支援による通商の促進と航空路線の拡充促進 ・ 東南アジア ・ 主要国の関係機関との経済分野の関係強化 ・ インドネシア、フィリピン州との人材育成や経済分野での協力 ・ 航空路線の拡充促進 等
米 国	地方政府との相互にメリットのある交流の検討・推進 ・ IT産業との交流支援 等 ・ 学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化 ・ ソフトウェア、カリフォルニア州等との大学間交流などの学術分野や産業界間における交流の拡大 ・ 昨向米の取組関係や輸出拡大につなげるためのサポートケースの活用 等

基本方針の位置づけ

静岡県地域外交基本方針は、静岡県の新ビジョン「富国・有徳の美しいふるしにくに人づくり、富づくり」の分野別計画として位置づけ、同ビジョンの基本計画の期間に合わせて、2021(H30)年度を目途に本県の目指す姿を具現し、具体的な施策展開の方針を示すものである。

地域外交の目指す姿

「地域外交の目指す姿」の展開に向けた取組目標

静岡県の新ビジョン「富国・有徳の美しいふるしにくに人づくり、富づくり」から地域外交に関する項目を抜粋し、数値目標を設定。

＜有徳の人、優れた地域をつくる交流の促進＞

- ・ 国際協力ボランティア派遣回数、留学生数、修学旅行実施回数等

＜通商の促進＞

- ・ 県産農水産物の新規輸出成約件数、新規海外展開事業回数等

＜スポーツ・観光交流の促進＞

- ・ 県庁の国際交流協定等締結・調印数、外国人宿泊者数等

＜新型コロナウイルス感染症に係るフェーズごとの取組＞

新型コロナウイルス感染症に係るフェーズごとの取組【想定】

フェーズ		1	2	3	4	
条件	日本政府による 入国制限や 行動制限	外国人の新規入国拒否 入国後の行動制限あり (14日間の隔離など)	ビジネスの往来再開 (レジデンストラック、ビジネストラック) 限定的な受け入れ再開 (留学、技能実習生等) 入国後の行動制限あり (14日間の隔離など)	限定的な観光再開 (レジデンストラック等対象地域) 入国後の行動制限緩和 (ワカチンパスポートなど)	入国制限及び行動制限なし	
	観光・空港 関連の動き	海外路線は主要空港のみ	海外路線は主要空港のみ	地方空港で海外路線の再開が拡大 短期滞在型旅行 (東アジア、東南アジア) 個人旅行	全ての空港で海外路線が再開 長期滞在型旅行 (欧米等) 団体旅行、教育旅行	
状況	ワカチン接種	(接種開始)				
	有識の人・慣れの地 域をつくる交流の 促進	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを活用した関係構築 (会談、実務協議、研修事業など) 海外からの活力取込に向けた調査 (国内の外国語方へのアプローチ) 学校間のオンライン交流 (テーマ別意見交換など (入門)) 	<ul style="list-style-type: none"> 機動的活動拠点的設置 (外国へのアプローチの端緒) オンラインサミット (収束後の交流促進をテーマ) 限られた外国訪問団の受入 学校間のオンライン交流 (観光や農産品など相互訪問型テーマ (応用)) 	<ul style="list-style-type: none"> 外国訪問団の派遣及び受入 技術研修員の受入 本格的な海外活力の取込 	<ul style="list-style-type: none"> 民間訪問団などの支援 	
通商の促進	行政	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる販促促進 (商談会、農産品情報デジタル化) 駐在員事務所等の対面による営業支援 輸出産地の育成、対応施設の整備 通関エキスパースト設置 ライプロコム等風開 産地間連携による輸出促進 (山の洲等) 海外ビジネスに関する現地の情報収集・提供 ビジネスウェーブセミナーの実施 (ライブとオンデマンド両方式) 欧州に新たなサポータデスクの設置による海外での現地相談支援体制の強化 企業の海外ビジネスのデジタル化支援 東京・大阪事務所や市町と連携した、在京・在阪企業 (外資系を含む) の誘致活動 オンラインによる投資環境PR 	<ul style="list-style-type: none"> 食と観光の連携による情報発信 海外における取組関係事業再開 (展示会・商談会出席、企業訪問) 介護人材・技能実習生等の事業を推進 企業のデジタル化支援 	<ul style="list-style-type: none"> 留学生相互派遣 (個人) 県内学校への海外教育旅行を働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 団体・学校単位などでの研修旅行、修学旅行の実施 留学生派遣支援 (学校単位) 対面による学校間交流 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスインタナーの受入れ 経済交流団の受入れ・派遣 対面による海外ビジネス関係者への投資環境PR
	企業	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる交流 (意見交換、情報交換) eスポーツ交流 観光デジタルプラットフォームの基盤システム・アプリ開発、データ入力開始 受入体制の整備 (観光施設) オンラインによるプロモーション (観光事業者、航空会社、船社) トレンド情報収集 (アウトドア・自然等) バーチャル観光の整備 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる交流 (相互訪問再開を見据えた情報発信) 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入 具体的な商品販売による誘客営業 ヴァーチャル観光促進 受入体制の整備 (空港・港) 食と観光の連携による情報発信 (再掲) ファンエンカウンターを活用した情報発信 観光デジタルプラットフォームへのデータ入力・アプリ運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港での海外路線再開 短期滞在型観光旅行受入 個人旅行受入 観光デジタルプラットフォームのアクセシビリティの活用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 対面によるススポーツ交流 (アジア地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 対面によるススポーツ交流 (欧米等) 新たな民間交流の促進
ススポーツ・観光交流の促進	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる交流 (意見交換、情報交換) eスポーツ交流 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる交流 (相互訪問再開を見据えた情報発信) 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港での海外路線再開 短期滞在型観光旅行受入 個人旅行受入 観光デジタルプラットフォームのアクセシビリティの活用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 対面によるススポーツ交流 (欧米等) 新たな民間交流の促進 	
	観光・空港	<ul style="list-style-type: none"> 観光デジタルプラットフォームの基盤システム・アプリ開発、データ入力開始 受入体制の整備 (観光施設) オンラインによるプロモーション (観光事業者、航空会社、船社) トレンド情報収集 (アウトドア・自然等) バーチャル観光の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な商品販売による誘客営業 ヴァーチャル観光促進 受入体制の整備 (空港・港) 食と観光の連携による情報発信 (再掲) ファンエンカウンターを活用した情報発信 観光デジタルプラットフォームへのデータ入力・アプリ運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港での海外路線再開 短期滞在型観光旅行受入 個人旅行受入 観光デジタルプラットフォームのアクセシビリティの活用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港での海外路線再開 短期滞在型観光旅行受入 個人旅行受入 観光デジタルプラットフォームのアクセシビリティの活用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山静岡空港での海外路線再開 短期滞在型観光旅行受入 個人旅行受入 観光デジタルプラットフォームのアクセシビリティの活用開始